

# 青少年だより かけ橋

平成30年度 第11号 <2月発行>

音更町教育委員会

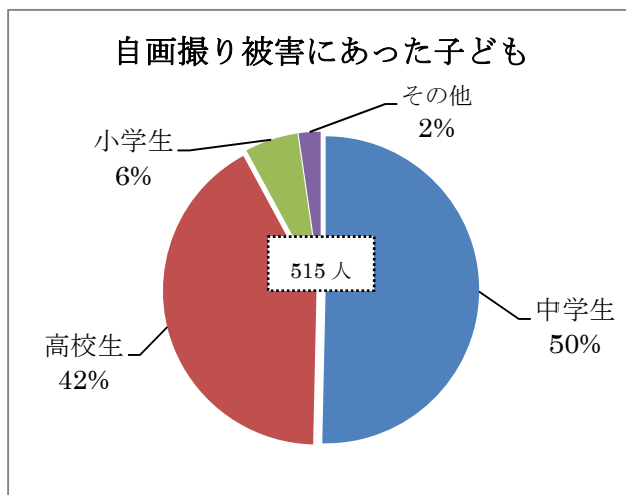
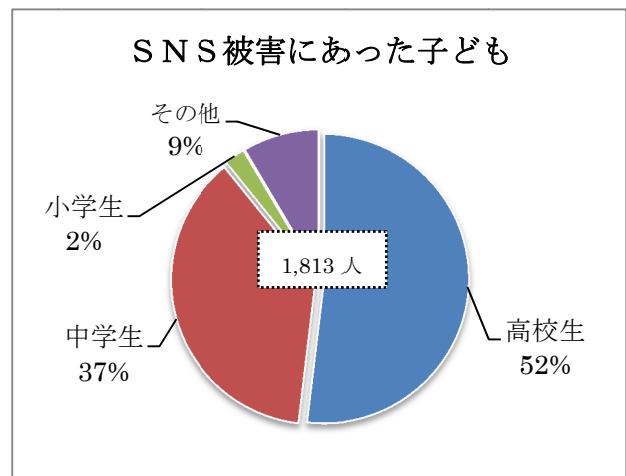
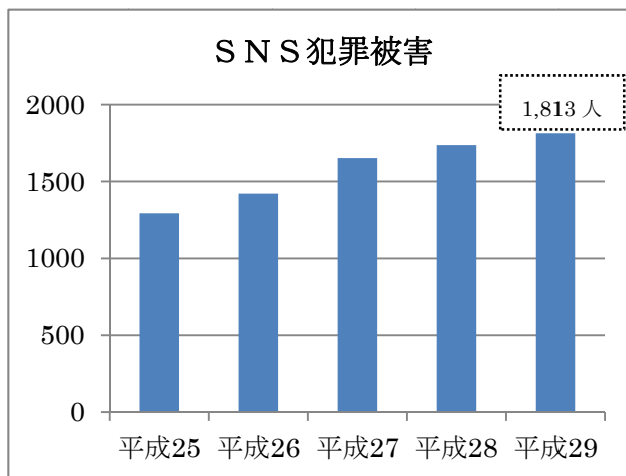
## 自ら守ろう!“自分の未来”

他人事だと思いませんか？

SNSなどのコミュニティサイトを通じた犯罪被害は過去最多！

青少年のスマートフォン・携帯電話の所有・利用の増加に伴い、子ども(18歳未満)がSNSなどのコミュニティサイトを通して知り合った面識のない者に脅されたり、言葉巧みにだまされたりして、児童ポルノの被写体になってしまうケースが急増しています。

平成29年、SNSを通じて犯罪被害にあった18歳未満の子どもは、1,813人(前年比+77人)で過去最多でした。その半数以上が高校生で、被害者の9割以上がフィルタリングを利用していませんでした。



SNSを通じて犯罪被害にあった18歳未満の子どものうち、児童ポルノの自撮り被害は、515人(前年比+15人)、その半数が中学生でした。

インターネット上では簡単に身分を偽ることができます。また、交際相手に渡した裸の写真が流出してしまう場合もあります。

流出した写真や映像データは、インターネットを通して世界中に広がり、完全に消去することは困難になります。トラブルに巻き込まれないよう、しっかりと考えて行動しましょう！ (資料；警察庁、文部科学省)

自撮り被害は中学生が半分以上

# ネットには危険もいっぱい！=平成29年に発生した実際の事例より=

## ネットトラブル事例Ⅰ SNSを通じた出会いからの被害（略取誘拐、殺人）

SNSで知り合ってから仲良くなった人に、悩みを相談したら、「慰めてあげる」「迎えに行つてあげるよ」などと誘い出されて、連れまわされ被害にあつてしまった。

誘拐や殺人事件などの重大な犯罪に巻き込まれてしまうケースもあります。

## ネットトラブル事例Ⅱ LINEのスタンプと交換に裸の写真を要求（脅迫、児童ポルノの拡散）

「ただでLINEスタンプをあげる」という人がいたのでもらったら、「裸の写真を送れ」と脅かされた。断ると、別のスマートフォンを使って同世代の女の子に成りすまし、「私も断ったらひどい目にあつた」などと言って不安にさせ、裸の写真を送らされてしまった。

100人以上の子どもが裸の写真などを送らされてしまいました。犯人は、他の女の子に成りすまして、児童ポルノ写真を売り、拡散させた。

## ネットトラブル事例Ⅲ お金ほしさに軽い気持ちで援助交際（児童買春・児童ポルノ）

お金が欲しくてSNSで知り合った人とホテルで会い、「俺の後ろにはヤクザがいる」などと脅され、性被害を受けてしまった。さらに、その様子を動画に撮られてネットに流されてしまった。

援助交際には大きな危険が伴います。脅迫や監禁などの被害にあわされたケースもあります。男子にも同様の被害にあつた子どももいます。

## =不審者に狙われないための“子どもの防犯行動”=



子どもたちが、不審者に狙われないためには、一人にならないことが一番ですが、友だちと別れてから自宅までの間や、やむを得ず一人で行動しなくてはならない場合もあります。そこで、不審者に狙われないために、子どもに具体的な防犯行動を教え、防犯意識を高めることが大切です。

- 人通りが多い道を歩く；人通りが少ない道や公園を通り抜けたりせず、なるべくコンビニや「子ども110番の家」など、すぐ逃げ込める場所がある道を選びましょう。
- 周囲の様子に注意を払う；危険を感じたら、できるだけ人のいる方に道を変えて、大人に助けを求めましょう。
- 目的地までキビキビ歩く；遊びながらダラダラ歩いていると、不審者が声をかけやすい隙ができます。早足でキビキビと歩きましょう。
- 声をかけられたらきっぱり断る；あいまいな受け答えは相手を増長させ、危険を拡大します。「いやです。」「大人の人に聞いてください。」「わかりません。」など、きっぱり断りましょう。
- 防犯ブザーをいつでも携帯する；誰かに身体をつかまれたり、連れていかれそうになったら、防犯ブザーを鳴らし、「助けて！」と大声で叫びましょう。

青少年の悩みごとは 青少年係へ

電話・FAX 0155-42-5855（生涯学習センター）